

メラミン食器の安全性

世界各国で愛用されているメラミン食器。

快適で使いやすく、厳しい安全基準をクリアした製品をお届けしています。

メラミン食器の安全は世界中で認められています。

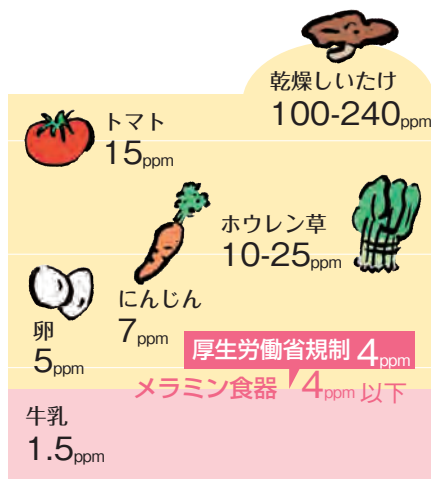
メラミン樹脂は1938年スイスのCiba社で開発されました。以来、丈夫で熱に強く、軽く衛生的な食器材料として世界各国の家庭をはじめ、レストラン、ホテル、病院、航空機内など様々な場所で広く使われています。

現在、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツなど世界数十カ国での生産数量は年間約3億個以上となり、実際に使用されているメラミン食器は推定で20億個以上と考えられます。

この広範で大量の使用実績が示すように、メラミン食器の安全性は世界各国で保証されています。日本では厚生労働省が食品衛生法に基づいて、昭和34年告示第370号（平成28年告示第245号）で食品衛生法上の安全を確保するため「フェノール樹脂、メラミン樹脂又はユリア樹脂を主成分とする合成樹脂製器具または容器包装」の規格基準を設定しています。

メラミン食器による身体へのホルムアルデヒドの作用は、食品と同じです。

私たちが日常なにげなく口にしている食品にもホルムアルデヒドが含まれていることをご存知ですか。もちろん、食品に含まれるホルムアルデヒドの化学的組成や体への作用は、メラミン食器と同じです。なお、食器から溶出するホルムアルデヒドは通常、口から体内に入るわけですが、わずかな時間で水と二酸化炭素に分解され、排出されますので体内に蓄積されず、安全です。



ホルムアルデヒドの国別規制値

国名	アメリカ America	イギリス England	ドイツ Germany	日本 Japan
規制機関	FDA	BPF	BGA	厚生労働省
対象樹脂	メラミン			フェノール ユリア・メラミン
溶出条件 溶出液	食器に関しては規制なく原料処方規制しているメラミン1モルとホルムアルデヒド3モル以下とを水溶液中で反応させて作ったもの			a) 蒸留水 b) 3% 酢酸 c) 10% エタノール 蒸留水
温度×時間				80℃、30分放置 60℃、30分保持
許容限度				3µg/ml 陰性
試験法	アセチルアセトン法			

PPM

PPMとは、パーツ・パー・ミリオン、つまり100万分の1のことで、微量な物質の量を表す単位として使われています。1PPMは 1,000,000ml(ドラム缶 5本分)に1mlの物質を混入したときの濃度比率を表します。食品衛生法の溶出試験などでは、規格値の単位としてµg/mlで表示する事となり、その意味を明確にしました。

µg(マイクログラム)：100万分の1g(グラム) ml(ミリリットル)：1000分の1ℓ(リットル)

アセチルアセトン法

ホルムアルデヒドの濃度測定法として、各国で採用されています。メラミン食器のホルムアルデヒド溶出試験法のなかで検出限界は0.2PPM位と言われており、一般的に使用される方法です。